

2016年
1月



祭りに遊びに出かけた子どもたち！（カンボジア孤児院）

新春のお慶び申し上げます。

昨年は、皆さまに大変お世話になりました。また、尊い御支援、御協力、本当に有難うございました。そのおかげをもちまして、昨年8月には福島県郡山市において、ファミリーホームの建物が完成し、引き渡しがなされました。また、スタッフの候補者も決まり、今は、具体的な運営母体となる福祉法人「からし種の会」と福島県との間で養育者等の選定のための話し合いがなされています。そして平成28年早期の運営開始を目指しているところであります。

児童養護の働きが本格的に始まるのも間近となり、私共の海外の孤児院も本年、量質両面にてさらなる事業拡大をと思うところではありますが、毎号のニュースレターやホームページにてもお伝えさせていただいております通り、とにかく運営費の不足がおおきな課題となっております。新年早々の御挨拶としては甚だ恐縮ではございますが、本年も皆さまの御力添え、何卒よろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ！（こんにちは！）『礎の石孤児院』の働きのための皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。11月には、2年ぶりに日本のNPO団体の皆さんが孤児院を訪問して下さいました。定期的にずっと訪問して下さいますので、2年ぶりの子ども達がさらに大きくなっているのを、とても喜んで下さいました。また、お米や調味料などのご支援の品々も頂きました。皆様のご支援に、心から感謝致します。11月後半には、カンボジアのお祭りで祭日が3日間続きました。みんなで一緒に遊びに出掛ける機会があまりないので、11月のこの3日間は、子ども達はお小遣いをもらって年齢別に遊びに出掛けることが恒例になっています。子ども達は、もらったお小遣いで好きな物を食べたり、いつもよりちょっと遅くまで外で過ごしたり、怪我や事故からも守られてとても楽しく過ごす事が出来ました。また、高校を終了した4人が大学進学のために別棟に移った後は、その後を引き継ぐかのように中間層の子ども達が自主的に動いて助けてくれるようになり、目覚ましい成長を見せてくれています。



子どもたちの通学に貴重な足である車！

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

フィリピンの子どもたちに対する、皆様の温かいご配慮と経済的なご支援を心から感謝致します。礎の石就学支援プログラムに参加している子どもたちの、今年（2015年～2016年）分の学費などの必要が、皆様のご支援によって全額満たされました。誠に御礼申し上げます、ありがとうございました。今月は12/18（金）に学校のクリスマスパーティーがあり、1/4（月）から、また通常の授業が始まり



ます。支援者の皆様が、愛をもってこの働きを助け支えてくださり、私たちフィリピン孤児院のスタッフはいつも心から感謝しています。皆様にとってこの季節が祝福された時となりますように。引き続き、フィリピンの子どもたちへのご支援を、どうぞよろしくお願い致します。

食事を共にする子どもたち！

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃のご支援に心から感謝申し上げます。ザンビアでは今年も雨が降っておらず、ダムの水不足で水力発電もままならず、相変わらず毎日の停電です。加えて、ドルレートが相変わらず高く、物価が2倍となり、海のないザンビアでは湖やダムからの魚を食べるのですが、水不足でそれすらも不足して値段が上がり、人々の生活がかなり苦しくなっています。ザンビアのみならず、南部アフリカ全体で雨不足のため、ジンバブエ WFP(世界食糧計画)は今年末からの飢餓を予告、警告



ルサカ孤児院の子どもたち!

しました。それでも私たちは日々喜びながら、感謝して生活しています。念願だった子どもたちへのクリスマスプレゼントもご支援頂き(本当にありがとうございます!)贈ることができることとなりました!皆様には、お風邪などをひかれないうよう、また、来年ご報告できることを楽しみにしつつ…。

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援とご協力をありがとうございます。

先日は久しぶりにグアララペスのヨーランダさんを訪問しました。彼女は私がグアララペスに住んでいた時に、孤児院の敷地に来てくださったことがあります。私はブラジルに来たばかりの時に、サンパウロ郊外のジャンジーラという町に住んだことがあるのですが、彼女もその町に住んだことがあります、現在もご親戚はみな



ヨーランダさん(中央)とアデリーナさん!

なジャンジーラに住んでおられます。ローカルな話ができる友達です。その日は彼女のおばさんアデリーナさんも来ておられて、子どもたちの働きのための支援をお願いすることができました。彼女はサンパウロに住んでおられたことがあり、韓国人の家庭で1年間働いた経験があり、韓国料理も少しできるそうです。魚釣りが好きで、今度孤児院の敷地内にある小川で魚釣りをしようという話になっています!

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を！

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。

また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。

私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

【郵便振替】

(口座番号) 00130-5-24249

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2069305

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

児童養護施設（孤児院）設立支援のため

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2915961

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

【郵便振替口座】

(口座番号) 00120-5-417839

(加入者名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

「礎の石」パートナー募集中

私たち NPO 法人「礎の石」孤児院では、毎月10千円をもって孤児たちを支えてくださる「礎の石」パートナーを募集しております。

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所、Eメールアドレスまでお送りください。

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局

〒141-0031

東京都品川区西五反田1-14-1 クレイズヒル岩崎201

電話：03-5740-8814 FAX：03-5740-8817

E-mail：ishizue@athena.ocn.ne.jp

<http://www.cornerstone.or.jp/>